

平成21年度日本農学会シンポジウム

# 「世界の食料・日本の食料」

- 日 時：平成21年10月10日（土）午前10時より（午前9時30分開場）
- 会 場：東京大学弥生講堂（地下鉄 南北線「東大前」駅下車徒歩1分、千代田線「根津」駅下車徒歩8分）
- 主な対象：学生・院生、若手研究者（一般公開）
- 参加費：無料
- 講演要旨：別売
- 内 容：

世界の人口は、2050年には90億人を超えるまでに増加することが予測されている。それにともない世界の食料総需要量は、今後も増加傾向となることが確実であり、食料の安定供給と安全確保は人類生存の最重要課題となっている。

また今日の食料問題は、こうした人口増加のみならず、食料価格の高騰、グローバル化の進展、新興国の経済発展、南北格差の拡大、食生活の高度化、地球規模の気象異変等といった食を取り巻く諸条件の変化によって、より複雑化・深刻化している。

これまで、そしてこれからも食料問題の解決は、農学に課された最大の使命でもあることはいうまでもない。そこで本シンポジウムでは、「世界の食料・日本の食料」と題し、農産物、畜産物、水産物における食料需給の現状と展望を明らかにしたうえで、食料の安定供給と安全確保を目的とした技術開発について紹介し、今後の農学の果たすべき役割と課題について議論を深めたい。

## ■講演題目：

### 第1部 食料の需給の現状・展望・課題基本講演

- 10:10 世界の食糧事情と日本農業の進路 (日本大学 大賀圭治)
- 10:45 世界の畜産事情と日本畜産の可能性 (九州大学 福田 晋)
- 11:20 世界の水産事情と日本水産業の課題 (近畿大学 小野征一郎)

### 第2部 食料の安定供給を目的とした技術開発

- 13:00 食料危機を克服する作物育種 (作物研究所 岩永 勝)
- 13:35 畜産物の安定供給をめざした技術開発について (畜産草地研究所 寺田文典)
- 14:10 水産物の安定供給を目的とした技術開発 (東京海洋大学 吉崎悟朗)
- 15:00 持続性・循環を目指した農業生産技術・システムの総合的評価 (酪農学園大学 干場信司)

### 第3部 食の安全確保を目的とした技術開発

- 15:35 食料の安定供給と安全確保をめざす農薬利用技術 (日本植物防疫協会 上路雅子)
- 16:10 動物感染症の制御と畜産物の安全 (東京大学 関崎 勉)
- 16:55~ 総合討論